

令和6年3月13日

足立区立北三谷小学校  
校長 村松 治 様

足立区立北三谷小学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 佐々木 弘昭

## 令和5年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

重点目標とその実現に向けた取組、課題解決の方法等、丁寧にまとめられている。特に、学力向上に向けての取り組みについては、調査報告書の具体的な数値をもとに説明があり、個に応じた指導やタブレット端末を活用した多様な学びの機会を設定、きめ細かい取組を展開していることが分かった。また、読書活動についても、学年の実態に合わせた取組内容から、工夫が見られる。コロナ禍が終息し、行事の計画的な設定や外部講師の積極的な活用、課外活動等、学校としての改善や工夫が伝わった。体力向上についても、授業に加え、長なわ・短なわ月間の取組、持久走記録会に向けての全校での取組なども進められており、今後の成果に期待するところである。

### 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校では、学力や体力の向上、豊かな心の育成のため、児童の実態や区の調査等をもとに様々な対応策を考えていることが分かる。めざす児童像のように基礎学力を確実に定着させ、児童一人一人がより積極的に考え、学ぶ姿勢を身に付けられるよう、保護者や地域との連携や協働を強め、家庭や地域の教育力を整備し学校を支援する体制をどう組織していくか、今後さらに検討していく必要がある。

児童の学力向上を進める中で、学校行事の精選が必要となるが、児童・保護者、地域の希望や願いをふまえつつ適切に進めていくことが肝要である。保護者・地域との連携については、協議会が中心となり、学校とともに様々な事業を進めてきたところであるが、今後は学校行事への協力に加え、協議会独自の取り組みも工夫し、学校の教育活動のさらなる活性化に寄与していきたいと考える。

### 3 その他

学校の教育活動は、素晴らしいものが多く、もっと外部への情報発信が必要である。近年、児童数の減少が気になるところであり、本協議会でも、学校のよさをPRするとともに、学校と協力して、様々な体験活動を考えていく。また、PTAからも保護者にはいわゆる『ママ友』の間での連絡網を活用して教育活動を発信するよう働きかけてほしい。来年度は、周年行事（70周年）も予定されているので、保護者、地域、学校が連携を取り、児童の心の成長と郷土愛を育めるような活動に取り組み、周年行事を盛り上げていく。学校の教育活動の推進に協議会としてどのようにかかわっていくか、授業や行事のありか方も含め、活発に意見交換を行い、今後、具体的な支援・改善策を提示していきたいと考える。